

子供たちに伝えたい日本のよさ

今月のテーマ 「日本の交番」

日本の治安の良さは、世界でも定評があります。その理由の一つには、長い歴史の中で育んできた「交番」があったからだとされています。

交番では、「パトロール」や「地理案内」等の他、巡回による防犯・防災に関する情報提供、地域の住民・団体と連携した防犯活動など、地域住民とのコミュニケーションを大切に、地域に密着した活動を行っています。

【交番の歴史】

明治 7年 東京に「交番所」が誕生

※ このときの交番所は施設ではなく、警察官が交差点等において、交替で立番（りつばん）をする場所であり、この交番所が交番の語源とされています。その後、交番所の名称は変わりますが、人々からは、交番として呼ばれ続けました。

交番所に設備・施設を設置し、地域のパトロール等を行う拠点となる。

明治 14年 交番所を「派出所」に改称

明治 21年 警察官が交替で勤務を行う派出所や、警察官が居住しながら勤務する駐在所を全国に設置

派出所（交番）・駐在所を中核とする、地域社会の安全を守る地域警察の原型が誕生する。

平成 6年 派出所を「交番」に改称

警察法の改正で、人々に親しまれてきた「交番」の名称が、正式名称となる。

地区ごとに設けられ、警察官が24時間常駐し、地域住民と連携しながら安全なコミュニティを築き上げている日本の交番制度は、諸外国でも高い評価を受けています。

※警視庁HP等を基に東京都教育委員会で作成



大正時代の交番
(警察庁白書より)



昭和中期の交番
(警視庁HPより)



現在の交番
(警視庁HPより)

世界とのつながり -日本の交番から世界の「KOBAN」へ-

かつて、ブラジルのサンパウロにあるラニエリ地区は、国連から「世界一危険な地区」と認定されるほど、深刻な治安問題を抱えていました。

その当時、日本の交番に似た派出所は存在していましたが、地域住民とのコミュニケーションは、ほとんどありませんでした。

平成9年頃から、このような状況を変えるために、地域住民と連携しながら地域の安全を守る活動を行っている日本の交番制度を参考にして、ブラジル独自の地域警察制度を導入しました。

平成12年からは、JICA（独立行政法人国際協力機構）による日本人専門家の派遣、ブラジル人警察官の日本での研修などを実施することで、ブラジルのKOBANがより地域に密着し、地域とともに平和を守る存在になる等の変化が見られるようになりました。

平成22年、ラニエリ交番が英国警視庁から、「世界で最も成果を上げた地域警察ベスト5」として表彰を受けました。

JICA や日本の警察では、ブラジルだけでなく、アジア諸国や中南米諸国、米国等における地域警察活動の導入を支援しています。今日では、日本の地域警察活動は世界の治安向上に貢献しています。

※JICA（独立行政法人国際協力機構）のHP等を基に東京都教育委員会で作成



日本の交番を視察する
ブラジル地域警察
(警視庁HPより)



交番の視察の状況
(警視庁HPより)

警察の活動や歴史を学べる施設

【警視庁】

CG（コンピューターグラフィックス）のピーポくんと一緒に、映像を通してクイズを交えた警視庁の活動や交通安全、非行防止、薬物乱用防止について学ぶ「ふれあいひろば警視庁教室」、警視庁創設以来の資料約1000点を展示してある「警察参考室」、110番を受理する「通信指令センター」の3か所を無料で見学できます。

〔見学できる日時〕

月曜日から金曜日（祝日と年末年始を除く）

①午前9時から ②午前10時45分から

③午後1時から ④午後2時45分から

〔所在地〕

〒100-8929 東京都千代田区霞が関2-1-1

電話 03-3581-4321（代表）

〔交通〕東京メトロ有楽町線「桜田門」駅4番出口から徒歩1分

東京メトロ日比谷線・丸の内線・千代田線「霞ヶ関」駅2番出口から徒歩2分

【警察博物館】

（平成29年春まで、リニューアルのため休館中）

警察博物館では、日本の警察の始まりから現代までの歴史的資料約1000点を展示しています。

〔所在地〕

〒104-0031 東京都中央区京橋3-5-1

〔交通〕東京メトロ銀座線「京橋駅」2番出口から徒歩2分

東京メトロ有楽町線「銀座一丁目駅」7番出口から徒歩4分

都営地下鉄浅草線「宝町駅」A4出口から徒歩5分

JR山手線・京浜東北線「有楽町駅」京橋口から徒歩7分



警視庁
（警視庁HPより）



警察博物館
（警視庁HPより）

特色ある取組

【あきる野市立多西小学校】

「地域の伝統・文化を学ぶ学校公開」

-地域の伝統・文化が多西小に大集合-



本校では、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、土曜日の午前中に、日本の伝統・文化に関する教育を中心とした学校公開を行っています。

体験を通して、地域の伝統・文化を伝承している人の思いに触れることで、児童の心の豊かさを育てています。

<内容>

1年生 昔遊び

2年生 昔遊び

3年生 わら細工

4年生 歌舞伎教室

5年生 お囃子教室

6年生 獅子舞・棒遣い教室

4年生全員が、浴衣に美白の本格的な姿で、白波五人男を演じました。

伝統・文化に関するイベント等

★江戸東京たてもの園 (<http://tatemonoen.jp/index.html>)

こどもの日イベント

新聞紙や折り紙を使った懐かしの工作やベーゴマ大会など、様々な体験ができます。

【日程】平成28年5月4日（水・祝）・5日（木・祝）

【時間】午前11時から午後4時まで

（開園時間 午前9時30分から午後5時30分まで）

※入園料 一般600円 中学生（都外）・高校生200円ほか

本イベント期間中は、小学生以下及び都内在住・在学の中学生は入園無料



★都立中央図書館 (<http://www.library.metro.tokyo.jp/Default.aspx>)

都市・東京情報ミニ展示「東京の近現代建築」

【期間】平成28年5月13日（金）から6月1日（水）まで

【場所】1階都市・東京情報コーナー

【内容】台東区にある旧岩崎邸が今年で建築120年を迎えます。近代以降、東京には様々な優れた建築物が誕生しています。その歴史や魅力などについて、当館の所蔵資料で御紹介します。

美術展関連・棚展示「歌川国芳、歌川国貞」

【期間】平成28年5月13日（金）から6月1日（水）まで

【場所】3階人文科学系資料・閲覧室 美術情報コーナー

【内容】渋谷区にあるBunkamura ザ・ミュージアムで開催中の「ボストン美術館所蔵 俺たちの国芳 わたしの国貞」展（6月5日（日）まで）に関連し、歌川国芳、歌川国貞に関する資料を御紹介します。

人文科学情報ミニ展示「文学の猫、美術の猫」

【期間】平成28年5月13日（金）から7月6日（水）まで

【場所】3階人文科学系資料・閲覧室

【内容】今年没後100年となる夏目漱石の『吾輩は猫である』は、現代でも多くの読者を惹きつけています。猫は、漱石以外にもさまざまな文学芸術家を魅了し、作品のモチーフとなってきました。今回は、本に描かれた猫たちにスポットを当て、関連資料を御紹介します。

★多摩図書館 (<http://www.library.metro.tokyo.jp/text/tama/tabid/2263/Default.aspx>)

児童エリア ミニ展示「本で日本を旅しよう」 その4:「伝統工芸の旅」&その5:「伝統食の旅」

今年度も「本で日本を旅しよう」というコンセプトで展示を行っています。日本の伝統工芸をテーマに木彫り・染め物・竹細工など、日本の手しごとの豊かさを伝える本を紹介しています。同時に花豆や梅干し、和菓子等の日本の伝統食に関する本を展示しています。以下に、展示図書の一部を御紹介します。

【期間】開催中（7月中旬まで開催予定）

【場所】児童エリア

「伝統工芸の旅」

・『すみ鬼にげた』（岩城範枝 作、松村公嗣 絵、福音館書店）

・『糸に染まる季節』（大西暢夫 写真・文、岩崎書店）

・『竹細工』（畑野栄三 文、全国郷土玩具館 監修、文溪堂）

「伝統食の旅」

・『花豆の煮えるまで』（安房直子 作、味戸ケイコ 絵、偕成社）

・『うめぼしさんのうた』（まじませつこ え、福音館書店）

・『和菓子の絵本』（平野恵理子 作、あすなろ書房）



※ 本資料に対する御意見・御感想、本資料の活用実践等がありましたら、右記担当へ御連絡ください。今後の資料作成の参考とさせていただきますと考えております。

【担当】東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6869

ファクシミリ 03-5388-1733